

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	児童デイ ワンハート			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書を作成している。	お子様の行動や様子について、主観的な印象だけでなく、具体的な場面や事実をもとに整理・分析することを意識しています。保護者の方から伺った内容を、事業所での支援場面での様子を照らし合わせ、多面的にニーズや課題を把握するよう努めています。課題だけでなく、お子様の強みやできている点も踏まえた計画となるよう意識しています。	ニーズや課題の整理方法について共通認識を持てるよう、記録や計画作成の視点を引き続き職員間で共有していきます。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるよう努めている。	連絡帳や送迎時のやりとりを通して、事業所での様子や変化を日常的に保護者へ伝えるよう心がけています。保護者から家庭での様子や気になる点を聞き取り、事業所での支援に生かすよう意識しています。健康面や発達面について、一方的な伝達にならないよう、相互に確認し合う姿勢を大切にしています。	日々の情報共有に加え、お子様の成長や課題について、保護者の方と一緒に考える視点を大切にしていきます。保護者の方が相談しやすい環境づくりを意識し、些細な変化や不安も伝えてもらえる関係性を継続して築いていきます。
3	事業所の支援に満足している。	活動内容に応じて、事業所内だけでなく屋外や公共施設を活用し、活動スペースの確保に努めています。公園や体育館の利用に加え、外出活動を多く取り入れ、お子様が日頃なかなか訪れる事のない場所への外出や、工場見学なども行っています。さまざまな環境での活動を通して、のびのびと体を動かし、経験の幅を広げられるよう工夫しています。	活動内容に応じた外出先や公共施設の選定を継続し、安全面に配慮しながら、より多様な活動環境を提供していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「保育園や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供する機会が少ない。	交流を検討してきたが、訪問先の理解や承認を得ることが難しく実施に至らない状況があります。	地域で開催されているスポーツイベントやお祭りに参加し交流する機会を通じて保護の意向や要望を丁寧に伺いながら、無理のない交流の方法を検討していきます。また、お子様の特性や発達段階に配慮し、安心して参加できる形での交流となるよう努めています。
2	保護者やきょうだい同士の交流の場が少ない。	家族会を開催し、意見交換等行う機会を設けたり、外部交流会の案内等行っていますが、開催日の調整や周知が不十分であることが原因と考えます。	必要に応じて家族会の日程調整を行う等し、より多くの方に参加していただけるよう検討していきます。また、保護者様やきょうだいの方々にも参加していただけるイベントの企画や外部で開催される保護者交流会の情報提供等を行っていきます。
3			

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	児童デイ ワンハート			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書を作成している。	お子様の行動や様子について、主観的な印象だけでなく、具体的な場面や事実をもとに整理・分析することを意識しています。保護者の方から伺った内容を、事業所での支援場面での様子を照らし合わせ、多面的にニーズや課題を把握するよう努めています。課題だけでなく、お子様の強みやできている点も踏まえた計画となるよう意識しています。	ニーズや課題の整理方法について共通認識を持てるよう、記録や計画作成の視点を引き続き職員間で共有していきます。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるよう努めている。	連絡帳や送迎時のやりとりを通して、事業所での様子や変化を日常的に保護者へ伝えるよう心がけています。保護者から家庭での様子や気になる点を聞き取り、事業所での支援に生かすよう意識しています。健康面や発達面について、一方的な伝達にならないよう、相互に確認し合う姿勢を大切にしています。	日々の情報共有に加え、お子様の成長や課題について、保護者の方と一緒に考える視点を大切にしていきます。保護者の方が相談しやすい環境づくりを意識し、些細な変化や不安も伝えてもらえる関係性を継続して築いていきます。
3	事業所の支援に満足している。	活動内容に応じて、事業所内だけでなく屋外や公共施設を活用し、活動スペースの確保に努めています。公園や体育館の利用に加え、外出活動を多く取り入れ、お子様が日頃なかなか訪れる事のない場所への外出や、工場見学なども行っています。さまざまな環境での活動を通して、のびのびと体を動かし、経験の幅を広げられるよう工夫しています。	活動内容に応じた外出先や公共施設の選定を継続し、安全面に配慮しながら、より多様な活動環境を提供していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供する機会が少ない。	交流を検討してきたが、訪問先の理解や承認を得ることが難しく実施に至らない状況があります。	地域で開催されているスポーツイベントやお祭りに参加し交流する機会を通じて保護の意向や要望を丁寧に伺いながら、無理のない交流の方法を検討していきます。また、お子様の特性や発達段階に配慮し、安心して参加できる形での交流となるよう努めています。
2	保護者やきょうだい同士の交流の場が少ない。	家族会を開催し、意見交換等行う機会を設けたり、外部交流会の案内等行っていますが、開催日の調整や周知が不十分であることが原因と考えます。	必要に応じて家族会の日程調整を行う等し、より多くの方に参加していただけるよう検討していきます。また、保護者様やきょうだいの方々にも参加していただけるイベントの企画や外部で開催される保護者交流会の情報提供等を行っていきます。
3			